

第三級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

(注) 次の各問題の記述について、正誤のいずれかを選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

1. 電気設備の規格のうち、ワット〔W〕で表示されるのは電圧である。
2. 搬送波には、音声周波数より高い周波数を用いる。
3. 無線電話の単信方式では、一般に、一基のアンテナを送信と受信に共用している。
4. 無線電話装置のプレストーク・ボタンは、送信と受信の切り換えに使用する。
5. 無線電話装置の電源ヒューズが切れたときは、代わりに銅線を使用すればよい。
6. 直流を交流に変える装置をインバータという。
7. 蓄電池(バッテリー)の容量は、使用する電流の大きさと電圧によって決められる。
8. DSB (A3E) 送受信装置で、プレストークボタンを押したとき、直ちに電波が発射される。
9. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化しない。
10. 船舶に設置されるレーダーは、自船の周囲 360 度の範囲を探知できるよう、全方向性(無指向性)アンテナを使用する。